

双葉西小だより

令和5年11月21日 文責 学校長 窪田 正幸



咲かせよう、個性！ 届けよう、想い！ 心ひとつに、西小まつり！

感染症のまん延防止のため延期とさせていただいた「西小まつり」を、明日22日（水）に実施します。久しぶりに保護者や学校応援団の皆様の前で発表ができることを子ども達もとても楽しみにしています。普段の学習の一環として、各学年の発達段階に応じて取り組んできた成果を、どうぞ楽しくご覧ください。

学年の代表児童に、見所・聞き所・頑張りたいことなどを聞きました。

1年生「みんななかよし」 1年生男児 わたしは、うたをきいてほしいです。「まほうのあいことば」を、人のきもちをかんがえてうたいます。みんなできもちをこめてうたいます。 	2年生「音楽劇 スイミー」 2年生男児 国語で勉強した「スイミー」を発表します。全員で練習を頑張ってきました。スイミーが元気を取り戻すところを見てください。 	3年生「奏でよう みんなのハーモニーを!!」 3年生男児 ぼくたち3年生は、リコーダーをいっぱい練習しました。全員の息が合った演奏をお楽しみください。ステキな音色に注目して聞いてください。 
4年生「リズムを重ねて 演奏しよう」 4年生女子 私たちは西小まつりの練習で、リズムうちと歌を練習してきました。発表の時は、リズムの音の大きさと私たちの歌声に注目してください。 	5年生「ハロウィン ナイト 47」 5年生男児 みんなで協力して楽しめる西小まつりにしたいです。特に合奏を頑張りたいです。みんなで力を合わせて、西小まつりを最高のものにしたいです。 	6年生「へいわのたね」 6年生女児 最後の西小まつりに向け、6年生みんなで協力して練習してきました。一人でも多くの人へ「平和の大切さ」が伝わるように、歌や劇を頑張ります。 

保護者の皆様方には、当日の様子を、児童が使用しているタブレットで視聴できるようにさせていただきます。準備ができ次第、子どもたちを通してお知らせします。

なお、各家庭で視聴することのみを目的としております。個人情報保護等から、動画をウェブ上に公開する等の行為をしないようお願いいたします。

創立150周年記念アーカイブ 公開のお知らせ

「がっこうめぐり～双葉西小学校のいまむかし」と題し、写真で振り返る双葉西小の歴史を、学校ホームページ上で公開しました。現在の姿から、昔懐かしい風景まで、写真とコメントで紹介しています。

HP「創立150周年記念アーカイブ」又は右のQRコードから見るができますので、ぜひご覧ください。



前期の振り返り 第2回学校運営協議会

11月9日(木)に第2回学校運営協議会を開催いたしました。学校から今年度前期の学校応援団活動の実績、主な学校行事の様子、いじめ・不登校の様子等を中心に、成果と課題を報告させていただきました。委員の皆様から具体的にいただいたご質問と学校側からの回答、またご意見の一部を紹介します。

①これまでの学校運営について

意見 運動会は、校庭の使用制限があったが、いい形でできたと感じる。運動場に関しては都内などもっと狭い学校の様子も参考にすると良いのではないかな。

質問 運動会の組み立て体操ピラミッドなど危険と言われる種目への対応は？

⇒奥行・高さなどを考慮し、無理のない構成を考えるとともに、職員が近くで補助を行う等の対応をとった。

②いじめ・不登校対応について

質問 いじめの認知は、どのような方法で行われるのか？

⇒いじめアンケートから把握することがほとんどである。積極的認知を行っているため、認知数が多くなる。認知した事案については、個々に聞き取りなどを行っている。

意見 いじめアンケートに関しては設問が多重設問である。多重設問にしないことが必要である。

⇒アンケートで詳細を聞く方法から、一人1台端末の活用によって事実の有無のみを把握し、詳細については聴き取りで明らかにしていく方法を取り入れていく。

意見 不登校に関しては中学校の不登校は高校入試に直結する為、せめて中学校からは通えるようなケアが必要。学校だけでなく市も含めての対応を考えていかなくてはならないと思う。

③学校応援団活動について

意見 応援団との関わり方について、教員、応援団共に考える時期であると思う。

意見 応援団活動はルーティンワークにならないように、目的の共有が必要である。

⇒「おまかせ」にしてしまうのではなく、担任と応援団との事前の打ち合わせをしっかりと行っていく。

意見 米作りに関連して地方病等の農業の歴史なども一緒に学べるとよい。

様々なご意見・ご要望をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

後半は、「めざす子どもの姿」をテーマに、意見交換をしました。一人一人の想いを付箋に記入した後、それを提示しながら大きなまとまりに分け、共有しました。時間の関係で集約するまではいきませんでしたが、様々な想いを実現していくための第1歩として、とても有意義な時間となりました。



委員の皆様方から出された「めざしたい子どもの姿」(一部抜粋)

自己肯定感を持ち、成長できる あいさつができる
コミュニケーション能力が高い 情報を上手に活用できる
自分を調整できる 多角的な物の見方ができる
将来のビジョンがつけれる

児童会役員選挙の取り組み始まる

来年度の児童会のリーダーとなる会長・副会長を決める選挙が行われます。16日(木)に、その立候補者受付がありました。5年生から5名、4年生から4名の立候補者が届けられました。これから、12月7日に行われる立会演説会・投開票に向けて、それぞれの思いを伝えていく選挙活動が始まります。

若者の政治離れ傾向が進んでいる現在、学校における「主権者教育」(主権者としての政治との関わり方を教える教育)の重要性が叫ばれています。児童会役員選挙を経験することは、この主権者教育の知識定着に、一定の正の影響を及ぼすと言われています。本校においても、選挙活動を通して学ばせたいことを教職員で確認し、今後の指導・支援にあたっていきたいと考えています。

立候補者受付



選挙のきまりの確認

